

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

# 武蔵野市議会だより

No.372

発行日 平成30年(2018年)11月15日

発行 武蔵野市議会

東京都武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1883(直)

FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 決算特別委員会審査概要 ……2-4面
- 一般質問 ……5-7面
- 議案審議結果一覧 ……8面
- 政府等への意見書 ……8面
- 陳情審議結果 ……8面

## 第三回 市議会定例会

第三回定例会は、九月三日から九月二十八日まで開催されました。今議会では、二十二人の議員による一般質問が行われたほか、平成二十九年度武蔵野市決算の認定についてなど七件の市長提出議案、安心して住み続けられる家賃制度等を求める意見書の議員提出議案が審議されました。

### 平成二十九年度決算を認定

一般会計歳入は六百六十七億円、一般会計歳出は六百三十八億円

「平成二十九年度武蔵野市決算の認定について」と「平成二十九年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」の二議案は、九月十八日に設置された決算特別委員会に付託され、四日間の審査を行いました。二十五日の委員会最終日では質疑・討論終了後、「平成二十九年度武蔵野市決算の認定について」は賛成多数で認定すべきもの、「平成二十九年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の

認定について」は全会一致で可決及び認定すべきものと決しました(二〇四面に決算特別委員会審査概要を掲載)。二十八日の本会議では、両議案について、きくち太郎決算特別委員長が委員会で審査経過の報告を行いました。続いて討論が行われ、採決の結果、「平成二十九年度武蔵野市決算の認定について」は賛成多数で認定され、「平成二十九年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」は全会

### 手数料徴収条例の一部を改正する条例を可決

九月十八日の本会議で、「武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例」が全会一致で可決されました。今回の改正は、建築基準法の一部を改正する法律(平成三十年法律第六十七号)の公布の日から起算して、三か月を超えない範囲において政令で定める日に施行される手数料を追加するほか、所要の改正をするものです。

手数料の主な内容は、接道規制の適用除外に関わる手続きの合理化のための認定申請におけるもので、一件につき三万一千円および特別仮設興行場等の仮設建築物の設置期間の特例許可申請の審査事務に関わるもので、一件につき十九万五千円です。

### 女子大通り幹線管渠更生工事請負契約を可決

九月十二日の建設委員会での審査を経て、同月十八日の本会議において、「女子大通り幹線管渠更生工事請負契約」が全会一致で可決されました。

本議案は、吉祥寺東町一丁目地内における都道一三三号線路面下の女子大通り幹線管渠の内面被覆工事を実施するものです。この管渠は、布設から五十年以上が経過していることから、武蔵野市下水道長寿命化計画に基づき、緊急度の高い約八百メートルの区間について、平成二十五年から更生工事を実施しています。今回の施工区間は九十四、二三メートルです。

なお、契約金額は二億二百五十万円、工期は議決の日の翌日から平成三十一年二月二十八日までの予定です。

## 傍聴のご案内

### ◎傍聴の受付方法

本会議および委員会の傍聴は、一般質問(5~7面に掲載)や議案の審議等、市議会の活動を知るよい機会です。お気軽にお越しください。

本会議の傍聴	市役所東棟8階の傍聴者入口で受付をしてください。
委員会の傍聴	市役所南棟7階の議会事務局で受付をしてください。

※予約は不要ですが、定員に限りがありますので、大人数で傍聴される際は事前にご連絡ください。また、ご希望に応じて手話通訳者等を派遣します。手話通訳者等の派遣や議会の日程については、ホームページ等でご確認いただくか(1面下部参照)、議会事務局議事係へお問い合わせください。TEL0422-60-1883

### ◎託児サービスのお知らせ

傍聴に伴う託児サービスを実施しています。

○対象:本会議、常任委員会および特別委員会(外環道路特別委員会、予算特別委員会および決算特別委員会)

○時間:午前10時から午後5時まで(傍聴時間内、3時間まで)。予算特別委員会および決算特別委員会については、最終利用開始時間を午後5時とし、午後8時まで利用できます。ただし、午後5時以降で保育者の確保ができない場合は、利用をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

○場所:議会第2応接室

○対象年齢:6か月から就学前までの乳幼児

○定員:同時に5名まで(申し込み順)

○費用:無料

○持ち物:飲み物、着替え、おむつなど

○申し込み:会議開催日の2日前(土・日、祝日除く。)の正午までに、申込書(市議会ホームページよりダウンロードできます。)に必要事項(傍聴日・時間、傍聴者の氏名、住所、連絡先、子の氏名、性別、生年月日など)をご記入のうえ、電話、メールまたはFAXで申し込みください。

※当日、健康調査票をご記入いただけます。※会議開催日については、市議会ホームページ、市報などで事前にご確認ください。

○詳細は議会事務局庶務係へお問い合わせください。TEL0422-60-1882

### ◎誰でもトイレのご案内

市庁舎1階、7階および8階には、「誰でもトイレ」がごございますので、ご利用ください。



本会議場



託児スペースの様子

写真募集!

### 1面写真募集要領

(次回の締め切り1月7日)

- 内容:武蔵野市内(隣接する地域を含む。)で応募者自身が撮影した、未発表のオリジナル作品(カラー)に限ります(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。※インターネット、ツイッター等で掲載したものや、個展や写真の掲載が主目的な催しは発表とする。ただし、地域行事への協力展示(例えば、コミセンや学校での展示など)は未発表とする。
- 規格:①紙焼きの場合 ・サイズ 六つ切り  
②デジタルデータの場合  
・ファイル形式 J P E G形式  
・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上  
・ファイルサイズ 2MB程度まで
- 審査:議会広報委員会が審査します。
- 発表:採用された作品は、2月1日発行の市議会だよりに掲載する予定です(ただし、紙面構成の都合上、掲載しない場合がありますのであらかじめご了承ください)。
- 著作権:作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、次号の市議会だより発行までは、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期限:1月7日(月曜日)当日消印有効
- 応募方法:撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記のうえ、下記まで先までご応募ください(作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合は、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります)。
- あて先:〒180-8777武蔵野市緑町2-2-28  
武蔵野市議会事務局市議会だより担当  
デジタルデータの場合はメールで ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで  
(上記以外のメールアドレスや各種メディア等での送付はご遠慮ください。)



# 概要

9月18日の本会議において、委員10名からなる決算特別委員会が設置されました。委員会では19日から4日間にわたり平成29年度決算の審査が行われました。28日の本会議では、きくち太郎決算特別委員長が委員会での審査過程の報告を行い、討論終了後の採決の結果、「平成29年度武蔵野市決算の認定について」は賛成多数で認定され、「平成29年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」は全会一致で可決及び認定されました。平成29年度一般会計及び4特別会計の歳入決算総額は985億1,650万円、歳出決算総額は950億4,516万円で、34億7,134万円が平成30年度へ繰り越されました。また、水道事業会計の収益的収入及び支出（消費税等控除後）は、収入34億4,516万円、支出32億313万円で、差し引き2億4,202万円の純利益となりました。

以下は決算特別委員会における審査の概要です。

## 総括

### 公民連携(PPP)の今後の在り方は

**問** 平成二十九年度は武蔵境駅北口市有地有効活用事業において、本市では初めてとなる公民連携(PPP)の手法を選択し大きな議論となったが、今後のPPPの在り方を伺う。

**答** PPPに関する本市の方針等は「武蔵野市公民連携(PPP)に関する基本的な考え方及び運用ガイドライン」で示しており、今後PPPにより実施する事業は本ガイドラインに沿って進めていく。

**問** 本市職員の一人当たりの超過勤務時間数は都内二十六市中でトップとなっているが、その原因は。また過重労働による健康障害が懸念されるが、対策について伺う。

**答** 本市は市民サービスが充実しているため、業務量や夜間・休日の対応等により超過勤務時間が長くなっている。休暇を取得することも仕事の糧になると考えており、職員にはライフワークバランスの大切さを日常的に伝えている。

**問** 人口増にもかかわらず個人市民税が昨年度より減少している要因は。

**答** 納税義務者の人数および平均総所得は増加しているが、ふるさと納税による税額控除の影響額が約三億七千万円と急増しているため、個人市民税が減収となった。ふるさと納税への対策については、今後よく検討し、取り組んでいきたい。

**問** 子ども・子育て支援に関し子どもと親の両方の視点から見解を伺う。

**答** 働く親にとっては、長時間保育が望ましいとの意見もあるが、子どもの視点からするとそうとは限らず、子どもの最善の利益を優先していきたい。待機児童解消そのものが目的ではなく、さらに安心して子どもを産み育てられるまちづくりを今後目指したいと考えている。

## 歳入

### ふるさと納税の影響を周知すべきでは

**問** ふるさと納税の影響は大きく、市民へ実態を周知し対策すべきでは。

**答** 市民への周知方法や媒体等を検討し、一定の方向性を出して、準備を進めていきたい。

を進めていきたい。

**問** 市税の滞納繰り越し分の徴収率の下落から、生活困窮者が納税できない状況にあると考えるが認識を伺う。また、納付したくてもできない生活困窮者に対する納税について、どのように対応しているのか伺う。

**答** 徴収強化期間を設けて対応した結果、滞納者は半減した。生活困窮者が納税困難な状況にあることは認識しており、財源確保と税の公平性から納税を促しているが、納税相談を受ける中で、状況によっては市の生活福祉課や東京都の窓口へもつなげている。

## 総務費

### 若者サポート事業の充実を

**問** 若者サポート事業で新たに設置した、相談窓口の評価と課題を伺う。

**答** 面談を行うことにより、つながりを持つ機会を増やすことができた。また、より早い段階でつながれるように、対象世代の拡充を図りたい。

**問** 武蔵境駅北口市有地有効活用事業について、プロポーザル実施より一年以上前に、市が事業者ヒアリングをした事業者と関連のある事業者が落札したことに対する見解を伺う。

**答** 事業者ヒアリングをしたのは三社である。その際は面積等の条件が決まっていないこと、プロポーザルには事業者ヒアリングをした他の事業者も参加したこと等から、落札事業者に有利だったとは言い切れない。

**問** 私立幼稚園の預かり保育料が園によって異なることに対する見解は。

**答** 幼児教育無償化を踏まえて、市ができることを検討したい。

**問** 市ホームページにおける視覚障

害者に配慮した読み上げ機能には、添付ファイルを読み上げないなどの課題があると考えるが、見解は。

**答** 読み上げ機能の課題は認識しており、次期システム更改に向けて課題を整理したいと考えている。

**問** 市役所本庁舎の駐車場に有料サービスを導入してはどうか。

**答** 緊急時や市の事業における駐車スペースを確保する必要があるため、有料サービスは課題があると考ええる。

## 民生費

### すくすくナビでの情報発信の方針は

**問** 新たに開設された、子育て応援サイト「すくすくナビ」について、利用者の子どもの成長を踏まえた今後の情報発信の方針を伺う。

**答** 現在は未就学児が対象で、イベントや講座の案内がメインだが、今後は子どもの年齢に合わせる等、情報発信の内容は精査する必要がある。

**問** 他自治体と比べると本市の認可保育所数は決して多くはない中、三歳の壁解消に向けた今後の対応策は。

**答** 認証保育所の認可化の際に、助成金を加算して認可化促進を図ることや、幼稚園の活用も検討したい。

**問** 大人の発達障害者支援について、相談支援の中で見えた特徴や課題は。

**答** 発達障害だけでなく知的・精神障害を併せ持っている場合が多く、他施設と共同で対応する必要がある。

**問** あそべえの早朝校庭開放事業を、子ども協会委託ではなく、市の事業として実施している点に関し、課題解消に向けた現状の取り組みを伺う。

**答** 今年度はあそべえの館長から意見を聞く場を設けた。子ども協会に

よる早期の事業一体化を目指したい。

## 衛生費

### 受動喫煙防止の観点から喫煙所の確保を

**問** たばこの受動喫煙防止の観点から喫煙所の確保が重要であるが、今後の方針や庁内会議での議論を伺う。

**答** 屋内の受動喫煙防止は、都の条例や法整備等で対策されていく中、屋外の受動喫煙対策は今後の課題である。禁煙対策庁内調整会議を設置し、法整備に伴う市の対応や喫煙所の設置可能性について検討している。

**問** 発達障害の早期発見のために五歳児検診を実施すべきではないか。

**答** 三歳児検診までに把握し、ハピット等につなげる支援体制を構築しており、就学前検診でも検査している。五歳児検診は今後研究したい。

**問** 建物解体時の騒音や、夜間の屋外での騒音問題の相談等への対応は。

**答** 市民から相談があった際は必要に応じて騒音値を測定し、近隣住民へ配慮するよう事業者を促している。休日や夜間の騒音については、警察への通報も案内している。

**問** 首都圏で停電が起きた場合のリスク管理に対する見解を伺う。

**答** 非常用発電機等で短期間の措置は可能だが、長期にわたった場合の対応が懸念される。国や都の災害停電への対応検証結果も受け、今後よく検討していく必要がある。

## 農業・商工費

### 市民農園の今後の在り方は

**問** 狭い市域で農業に触れ合える機会が限られているため、市民農園は貴重な事業と考えるが、今後の在り



きくち太郎 決算特別委員長

### 審査した特別委員

平成29年度決算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- ◎きくち太郎
- 深沢 達也
- 堀内まさし
- 竹内まさお
- 木崎 剛
- 浜田けい子
- 橋本しげき
- 山本ひとみ
- 齋藤シンイチ
- 西園すみこ

◎印 委員長 ○印 副委員長

人口1人当たり 438,809円  
1世帯当たり 836,010円

議会費 4億5,756万円 (0.7%)

公債費 18億5,600万円 (2.9%)

消防費 20億6,554万円 (3.2%)

土木費 55億6,880万円 (8.7%)

衛生費 56億8,219万円 (8.9%)

教育費 86億6,847万円 (13.6%)

歳出 638億4,273万円

総務費 112億855万円 (17.6%)

民生費 276億6,712万円 (43.3%)

その他 1億7,679万円 (0.3%)

商工費 4億9,171万円 (0.8%)

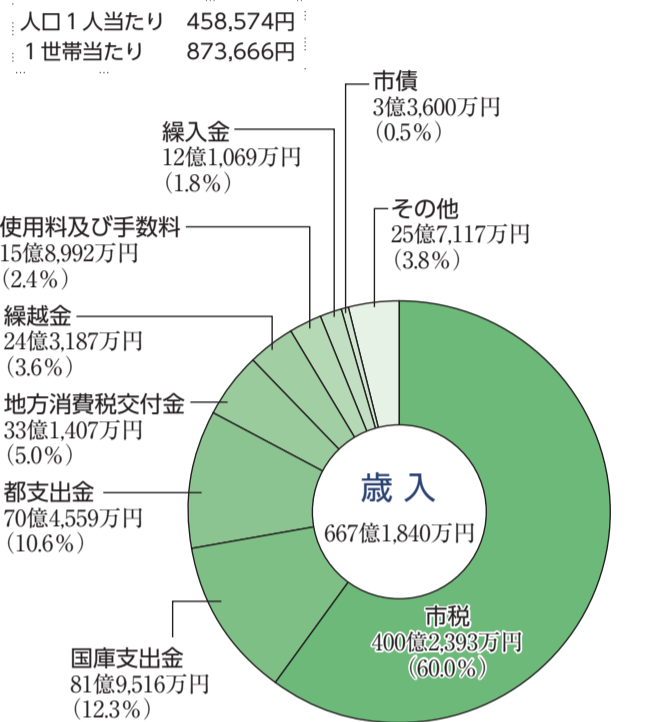
# 決算特別委員会 審査

※平成29年度(平成29年4月から30年3月まで)  
決算の審査内容を掲載しています。



決算特別委員会の審査風景

## 一般会計歳入決算の内訳 および歳出決算の目的別内訳



**問** さまざまなマップが配布されているが、駅から離れた商店街の活性化につながる取り組みはできないか。

**答** 事業所の意見を聞いたうえで、産業振興計画の中で議論し考えたい。

### 土木費

### 三鷹駅北口街づくりビジョンで 市民と協働するメリットは

**問** 三鷹駅北口街づくりビジョンを地域の方々と行政が協働で策定したことは大きな特徴だが、市民と協働するメリットをどのように考えるか。

**答** 現在、地域の商店街や市民の方々

**問** 液体ミルクを備蓄品に加える予定は

**答** 災害時の備蓄品に乳幼児液体ミ

### 消防費

**問** 境南ふれあい広場公園は、芝生の養生のために利用できない日もふえていく。踏圧に強い草を植えることも研究してほしいが、見解を伺う。

**答** 芝生は踏圧に最も強いが、ふれあい広場公園は人通りやイベント開催も多くすり切れてしまう。今後改めてしつらえを研究していきたい。

### 教育費

**問** 学校体育館への空調設備設置はさまざまな課題があるが、それらを解決した他自治体の事例を参考に、具体的な検討をすべきではないか。

**答** 体育館の密閉度や配管構造、空調機の設置場所や冷却効果など課題が多いが、児童生徒の安全面を考慮して何らかの対策はしていきたい。

**問** 防災の視点には、ふだんからの備えも大事である。災害時に自宅でのように過ごすかを考えるにあたり、女性の視点が必要ではないか。

**答** 日々の生活で家の中を片づけること、身の周りを見直すことも防災や減災につながることを考える。性別を問わない、生活感のある防災意識の向上を工夫したい。

**問** 施設一体型小中一貫教育を導入した場合は全校で自校式給食を提供するが、各校の敷地を拡張できない中、校庭の広さを確保したうえで給食調理施設整備は可能なのか。

**答** さまざまな条件を検討することでは設置は可能だと考えており、来年度末までに学校施設整備基本計画を策定する中で詳細を検討したい。

### 特別会計

**問** 東京都との水道一元化についての進捗状況を伺う。

**答** これまで基本認識の確認を行ってきたが、現在は一定の合意に至ったところである。今後は財政負担や資産整理等の具体的な課題について、着実に合意形成を図っていきたい。

### 水道事業会計

**問** 臭気抑制対策助成事業の進捗状況と、吉祥寺以外の地域の対策は。

**答** 平成二十九年度に臭気調査測定を実施し、悪臭防止法の基準を上回る十五件について対応することとした。また吉祥寺以外の地域も対象となるため、必要に応じて対応したい。

### 監査意見書

**問** 都が国民健康保険の財政運営の主体になることに伴い、「区市町村国保財政健全化計画」を策定することだが、この策定は義務なのか。

**答** 計画策定は義務となっていない。また、策定しない場合は今後の交付金等に影響が出ると考えている。

### 介護保険事業会計

**問** シニア支え合いポイント制度における男女別の登録者の状況を伺う。

**答** 平成三十年九月一日時点で登録者が二百六十三名おり、男性二十一%、女性七十九%である。また、介護保険事業会計を財源としているため、活動の範囲を広げることによる財源の確保が課題と考えている。

### 水道事業会計

**問** 審査に付された決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に準拠し、適正に作成されており、計数は関係諸帳簿と合致していることを確認した。

**答** また、決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状態をおおむね適正に表示しているものと認められた。

監査委員 高橋 良一  
土屋美恵子

# 決算に対する 各会派の討論

9月28日の本会議で決算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない内山さとこ議員、山本ひとみ議員の賛成討論もありました。各会派の構成は8面に掲載しております。

決算特別委員会の詳しい内容は、インターネット議会中継または会議録でご覧いただけます。会議録は11月中旬以降、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナーまたは市議会ホームページにおいて閲覧することができます。

①平成29年度武蔵野市決算の認定について ②平成29年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

## 自由民主・市民クラブ

### 市民の生命と財産を守る危機管理と備えを 公民連携事業の選定は公平・公正に行われたのか



木崎 剛 議員

①反対 ②賛成

武蔵境駅北口市有地有効活用事業は、具体性のある提案が高得点を得るプロポーザルで事業者が決定した。しかし、その事業者の関係企業が公募の1年以上前から情報を得ていち早く地元有名企業に声を掛けたことから、今回の決定事業者は具体的な店舗名まで入れて提案することができたのである。明らかに他社と比べ事前に準備ができたことと想像が付く。公民連携事業の選定が公平・公正に行われたとは言えず、将来にわたって禍根

を残す施設は決して容認できない。また、昨年決算特別委員会で消火栓26か所の不備が公となり補正予算で直ちに工事をすべきと提案したが、先延ばしとなった。現状を鑑みれば、消火栓の改修はもちろん、大雪、大雨、台風などへの対策をさらに進めるべきだった。14万5千人の生命と財産を守る視点で平成29年度に実施されなかったことに対して、市長の危機管理意識、リーダーシップに大いに問題があったと言わざるを得ない。

## 市議会公明党

### さまざまな課題を先送りせず、 適時適切な判断を求める



浜田けい子 議員

①②賛成

平成29年度は「一人ひとりを大切に 多様性を力に平和と自治をはぐくむ予算」と位置づけられ、前市長からの取り組みが引き継がれての決算となった。市制施行70周年を迎え、多くの先人が築いてきた歴史をいかに守り、力強く未来につなげていけるか、公平・公正なリーダーシップが問われている。決算状況は、財政力指数、経常収支比率等も良好な数値で、健全性を維持している。市政アンケートの要望項目1位である「災害・

危機に強いまちづくり」に関し、防犯カメラ設置について、全市の取り組みを提案する。歳出については、必要な財源を確保し、適正な財政運営に努めたものと判断するが、予算執行率の低い事業は、社会状況の変化を的確に捉え、適切な予算編成を求める。誰もが安心して住み続けられるまち武蔵野へ向け、さまざまな課題を先送りすることなく着実に遂行するとともに、適時適切な判断を要望し、賛成する。

## 空

### 子ども、若者、高齢者、障害者などの多様性を大 切にできる地域・まちづくりを



斉藤シンイチ 議員

①②賛成

平成29年度は第五期長期計画・調整計画の2年目、市制施行70周年、邑上市長から松上市長に交代した一年であった。予算は「一人ひとりを大切に 多様性を力に平和と自治をはぐくむ予算」として編成され、決算は歳入667億1,839万6千円、歳出は638億4,272万5千円と健全な財政運営に努めたことを高く評価する。歳入については、ふるさと納税の影響により、約3億7千万円、前年度比0.9%の減となった。これ以上の税収減とな

らないよう、今年度中に武蔵野市の方向性を検討し、発信できる対策をとることが確認できた。また、質疑の中では、一部の委員から子育てや介護等の分野において、行き過ぎたコスト論に基づく発言が繰り返されていたが、これからの時代に求められるのは顧客目線のサービス要求ではなく、市民と一緒にまちをつくるという双方向の視点であり、事業効果は総合的に捉えるべきと考えている。

## 民主生活者ネット

### 予算編成の精度を高めつつ、 待機児対策と格差拡大を防ぐ取り組みの拡充を



西園寺みきこ 議員

①②賛成

平成29年度は松上市長就任という変化の年であり、想定を超える人口増への対応に各部署とも追われた年でもあった。保育園の待機児数は大きく減少し、吉祥寺南町と東町では5名となった。しかし、今後の人口増と女性の就労者数の増加は明らかであり、来年に予定されている保育の無償化の影響も考慮すれば、一部にある「吉祥寺地区の保育園対策は峠を越えた」との認識は妥当でなく、今後も待機児対策の拡充を求める。また、

続発する災害に備え、太陽光発電施設の自立運転機能を拡充し、避難所での電力ニーズに応える体制の整備を求める。格差拡大を防ぐため、「高等学校等入学準備金」や就学援助費の入学前支給に取り組み、必要な子どもへ支援が届いたことを評価する。予算組みに一部あいまいさが見られ、現状認識や理解が不十分と思われる答弁もあったが、高く評価できる事業が多数あり、おおむね適正に執行されたと考え、賛成する。

## むさしの志民会議

### 出生数1,157人、死亡数1,184人。財政カトップの本市での税金使途について、総点検を



竹内まさおり 議員

①②賛成

平成29年度は、職員内部から公益通報が寄せられた。また、決算書類の不備や、氏名を名乗らない職員の電話対応、年間210時間の超過勤務についても改善を求める。歳入に関しては、自販機の設置等公共施設を使用させる際には入札を行い、増収に努めてほしい。保育士給与の官民格差については明確な答弁がなかったが、公立保育園の在り方検討が必要だ。また、保育所の児童1人当たりの運営費は月額19万円（保護者負担2万円、

その他国や都、市からの補助）である。施設型サービスだけではなく、子育てバウチャー制度を求める市民意見への対応も必要だ。100名へと増加する不登校児童生徒への対応としては、学校運営協議会の検討も含め、多面的な支援を求める。本市の1人当たり歳入額は多摩26市平均より7.2万円高く、14万5千人の市民分で計105億円も多い。結婚支援や不妊対策にも取り組み、市民の希望がかなえられる市政運営を望む。

## 日本共産党武蔵野市議団

### 市の財政力を生かして市民生活を支える施策のさらなる進展を



橋本しげき 議員

①②賛成

市民の暮らしを支える施策がどれだけ進み、その結果を来年度予算にどう生かすか、その視点と問題意識で決算審査に臨んだ。暮らしを支える施策では、いきいきサロン事業の拡充、耐震診断・改修の制度改善、子育て支援・教育では、認可保育園5園の整備や私立幼稚園預かり保育の拡充などが進んだ。2017年度から新たに小学校就学援助費の入学前支給、高等学校等の入学準備金や修学給付金の支給が始まったことは大いに評価し

たい。環境対策では、新クリーンセンターの本格稼働、透水性舗装等の環境舗装事業、放射線対策等が進み、平和施策では、青少年の平和使節団の長崎市への派遣、中島飛行機武蔵製作所関連資料の企画展などが行われた。一方、本市は保育園整備率が低く、認可保育園のさらなる増設を期待する。多子世帯等の国保税減免の検討を求め、全体として、暮らしを支え平和を発信する市民の要望が実現したことを評価し、賛成する。

# 一般質問

第3回定例会では9月3日、4日、5日に22名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、11月下旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第3回定例会分は11月26日登録予定）、インターネット議会でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

## 緑豊かな住宅地の維持を基本とし、社会関係資本への投資を優先したまちづくりを



山本あつし 議員

**問** 緑豊かな低層住宅地の維持が本市のまちづくりの基本だと考えるが、見解を伺う。

**答** 緑豊かな住宅都市のイメージが市民の誇りや本市の魅力となっており、今後もまちづくりの基本と捉え維持していきたい。

**問** 緑の維持について、一步踏み込んだ新たな方針が必要では。

**答** 民有地の緑の保全・創出がこれまで以上に必要であり、地域で支援する仕組み作りや緑を大切にす啓発活動を検討したい。

**問** ハード整備の重視からコミュニティ等を重視したマネジメントへ転換し、地域の中で顔の見える関係を作り、互いの立場や利益に配慮した議論を重ねるプロセスが必要と考えるが見解は。

**答** 今後は社会関係資本等への非物的投資を優先し、分野を超えた連携など新たな視点でまちづくりに取り組む必要がある。

## 災害等に常に迅速に対応できる危機感と緊張感のある市政運営を



深田貴美子 議員

**問** BCPである「水道震災対策マニュアル」について、議会への報告が無いが、西日本豪雨、大阪北部地震でのインフラ被害を踏まえ、水道に致命的な欠陥を持つ本市の策定状況を問う。

**答** リスク管理上、公表できないが、平成25年に策定済みである。

**問** 警察・消防同様に、自衛隊の「危機管理担当官」の配置を求め、速やかな初動の構えに備えるべきではないのか。

**答** 意見があるのは承知しており、今後研究が必要と考える。

**問** ジャンボリー開催にあたり、現地のハザードマップに基づく危機管理体制等の指導者研修をすべきと考えるが見解は。

**答** ハザードマップの配布等により危機管理体制を強化したい。

**問** 結核、はしか、風疹等の外国人感染症対策を求めるが見解は。

**答** 都や保健所、武蔵野赤十字病院と連携し対応していきたい。

## 「ハコモノ行政」ではなく、多種多様な方法での環境啓発および循環型社会の推進を



竹内まさおり 議員

**問** リサイクル事業者が粗大ごみを回収するためのスペースがない。旧プラットホームをエコプラザ（仮称）として整備しなくとも、環境啓発を行うことは可能だと考えるが見解は。

**答** 環境啓発の拠点としての整備は長期計画に記載されている。

**問** 年間270万円が計上されている環境健康診断について伺う。

**答** 吉祥寺北町5丁目、緑町2丁目3番地域、緑町3丁目を対象に34年間続けており、健康被害はない。現在の受診率は4%だ。

**問** 本庁舎のLED率は約1割で、対応が遅いと思うが見解は。

**答** 照明器具を交換する際にLED化を進めていく方向性である。

**問** 開館時間は条例等に規定されているとのことだが、夜間、利用者のいないコミセンは早めに閉める旨の規定も必要では。

**答** 利用者がいないからといって早めに閉める規定は必要ない。

## 生涯スポーツ環境のさらなる整備充実を



深沢達也 議員

**問** 生涯スポーツに関し、①生涯スポーツをどのように捉えているか②生涯スポーツの環境整備における、ハード面とソフト面の課題は③生涯スポーツのソフト面での充実のため、学校施設開放をより充実させるべきと考えるが今後の方針は。

**答** ①目的、体力、年齢を問わず、すべての人が気軽にスポーツを行い、それを生涯にわたって継続できることと認識している②ハード面では、現存施設の活用を工夫するため、今後作成する類型別施設整備計画に基づき、原則60年の使用に耐えるための改修工事を、緑などの周辺環境にも配慮しながら行う必要がある。ソフト面では、障害者スポーツの啓発をどう広げていくか等の課題がある③身近な場所で気軽にスポーツを行う仕組みとして重要であり、今後も充実を図っていく。

## 子どもの最善の利益を考慮する施策の推進を



笹岡ゆうこ 議員

**問** 小・中学校における熱中症の対策は、水筒の持参等を含め、教育委員会がより積極的に対策をすべきだと考えるが見解は。

**答** 各学校で児童生徒の健康、安全を最優先に対策しているが、教育委員会が踏み込んで一律の方針を示すことも必要と考える。

**問** 発達障害に関し、親子ともに包括的に支援するために①ペアレントメンター育成の普及推進への見解は②より進んだ庁内連携、ワンストップ相談窓口の設置に取り組むべきだが見解は。

**答** ①ペアレントメンターの役割は大きいと認識している。今年度、東京都のペアレントメンター事業に本市から2名の受講者を派遣した②ワンストップ相談窓口を設置要件とする子育て世代包括支援センター等の設置については、第五次子どもプラン武蔵野の策定において重要な論点の一つと考えている。

## 統合型リゾート整備推進法成立によるギャンブル依存症の増加へ向け対策を



下田ひろき 議員

**問** 統合型リゾート整備推進法（IR法）が成立したが、市内在住のギャンブル依存症の方へどのような影響があると思うか。

**答** IR法施行後の状況について情報収集し、依存症の方への悪影響や、新たな依存症者の増加につながらないように対応したい。

**問** ギャンブル依存症対策に関し、現状と今後の取り組みを伺う。

**答** 相談者の状況に応じ、病院や障害福祉サービスを紹介している。また支援者の対応スキル向上等のため精神保健福祉研修を開催しており、ギャンブル依存症もテーマとして検討したい。

**問** ギャンブル依存症を未然に防止するため、学校において健全育成に向けた取り組みが必要ではないか。

**答** さまざまな依存症などの問題行動に巻き込まれないために、自立心や判断力を養うよう、全教育活動を通じて指導している。

## まちを歩いて幅広い市民の意見を伺い、市政への反映を



ひがしまり子 議員

**問** 児童虐待防止に向けた対策強化への取り組みを伺う。

**答** 国の緊急総合対策に適切に対応するとともに、本市の子育て支援ネットワークにおける子育て家庭への支援に努める。

**問** 小・中学校の体育館に冷房を設置することは検討しているか。

**答** 体育館への冷暖房設置は学校改築時の対応として検討したいと考えている。現在は事業経費等の課題もあり具体的には検討していないが、ことしの夏の気象状況を見れば一定の対策が必要であり、大型送風機の全校導入等の検討をしていきたい。

**問** 武蔵境駅nonowa口改札について、7時から22時の利用時間を、6時から23時に変更してほしいとの声を聞くが対応は。

**答** 現状把握等に努めたうえで、要望内容を踏まえてJRと協議を行うなどの対応をとっていきたい。

## 続発する災害・酷暑の長期化を踏まえ 災害対策、暑さ対策の総点検を



山本ひとみ 議員

**問** 災害対策において、防災行政無線による広報と、避難所となる体育館へのエアコン設置について、現状と課題を伺う。

**答** 防災行政無線については、聞き取りにくいとの課題に対し、その放送した内容を電話で確認できる電話対応サービスを開始した。エアコン設備に関しては、現在小・中学校の体育館には設置しておらず、大型扇風機で対応している。電気容量増強の必要性の有無や、密閉性の確保、事業経費等の課題から、全体育館への設置は現状では困難であると考えている。

**問** 児童生徒の体育、野外・クラブ活動での暑さ対策を伺う。

**答** 環境省が示す暑さ指数(WBGT)の基準を参考に慎重に判断するよう指導している。WBGTが31度以上の場合、運動は原則中止とされており、各学校もそれにのっとり対応している。

# 一般質問



平成30年8月30日、本市と大韓民国ソウル特別市江東区との国際交流の一環で、江東区青少年交流団が議長、市長に表敬訪問しました。

## 保育園整備予定の吉祥寺南町市有地は市民の 財産。公正・公平な土地鑑定を



小美濃安弘 議員

**問** 保育園建設の住民説明会において、市長は「わが国は法治国家であり、近隣住民に関係なく保育園を建設できる」という威圧的な発言や態度をとったということは事実か。

**答** 一部の反対があっても、保育園建設は法律にのっとり進めると発言したが、威圧的だと感じたのであればおわびしたい。

**問** 井ノ頭通りと南保育園の前面道路との交差点は非常に危険であり、信号機を設置すべきと考えるが見解を伺う。

**答** 引き続き武蔵野警察に要望をし、交通安全対策を推進したい。

**問** 市有地活用において、不動産鑑定士等の査定により公正・公平に行うとともに、保証金を納めさせるべきと考えるが見解は。

**答** 時価より低い貸付料を考えており議会でご議論いただきたい。また、保証金は、市長の判断により全額免除とした。

## 芸能劇場の在り方を早期に検討すべき



川名ゆうじ 議員

**問** 中央図書館を指定管理者制度で運営すると、図書館政策の立案・執行も外部化することになり、賛成できないが見解は。

**答** 中央館としての中央図書館の運営形態は図書館基本計画改定の中で検討しており、慎重に進めたい。また、政策立案機能は直接市が担うべきと考えており、指定管理者は本市の財政援助出資団体のため、市が関与する範囲は広いと考える。

**問** 芸能劇場の在り方については、文化振興基本方針を策定のうえで検討したいとしていたが、その後の状況はどうか。古典に限らず、多目的に利用しやすく改修すべきと考えるが見解は。

**答** 時代の流れや変化に応じて見直していくことが必要であると認識しており、施設設立の経緯を踏まえ、三鷹駅北口まちづくりビジョンとの整合性も図りながら検討をしたい。

## 児童虐待から断固子どもを守る武蔵野方式の 構築を望む



大野あつ子 議員

**問** 少子化対策の推進には横断的な組織が必要と考えるが、ワンストップで子育て支援を行う総合的支援施設が必要ではないか。

**答** 分野を横断した切れ目ない支援につながる連携の仕組みを、第六期長期計画や第五次子どもプラン策定の中で検討したい。

**問** 国は、児童虐待防止のため、相談体制の強化を望んでいるが、本市でも児童虐待から守るセーフティネットが必要ではないか。

**答** 要保護児童対策地域協議会を設置しており、支援が必要な家庭の把握に努め、子育て支援ネットワークの連携を強化するとともに、セーフティネット機能を充実していきたい。

**問** 使用済みおむつのリサイクルに関する考えを伺う。

**答** 環境負荷やコスト等、現状では難しいが、おむつのリサイクル技術の進展を注視しながら研究する必要があると考える。

## 酷暑対策と高齢者等健康施策の推進を



しばみのる 議員

**問** 酷暑対策として、高齢者・障害者・未就学児世帯への、エアコン設置費用の市独自の助成制度の創設を求めるが見解は。

**答** エアコンは個人の資産であり、助成は適当でないと考えている。

**問** 小・中学校児童生徒への酷暑対策や、災害時の市民の避難施設として、体育館にエアコンの設置を求めるが見解を伺う。

**答** 全体育館へのエアコン設置は数々の難しい課題があり、現在大型送風機を設置して試行している。エアコンの設置は学校施設整備基本計画の策定の中で検討したい。

**問** 高齢者の健康向上と健康維持施策について、健康教室等の設置と公共の健康施設設置の検討について伺う。

**答** 施設の新設等は面積の要件からも難しい、民間施設利用も含めて、高齢者の健康づくりを推進したい。

## 子どもの実態を把握し、子どもや教育に関する 計画策定への反映を



斎藤シンイチ 議員

**問** 子どもや教育に関する各計画の策定にあたり、現在の子どもの実態や問題をどのように把握して計画に反映させるのか。

**答** 今年度から第五次子どもプラン武蔵野を策定する中で、アンケート等のさまざまな機会を通じて現状や課題を把握する。また、第三期学校教育計画(仮称)も同時期に策定されるため、教育委員会とも連携して実態の把握と課題の共有に努めたい。

**問** 市内の民間保育所では、若者就労サポートネットと連携し、生きづらさを経験した若者を保育補助者として採用している事例があるが、この効果をどのように捉えているか。

**答** 成功した取り組みと認識しているが、保育施設が時間と労力を割いて支援しているという背景もある。必要な支援や方策について検討し、受け入れ環境の整備など課題を整理したい。

## 命を守る避難所の基準を見直して、エアコン 設置などの環境整備を求める



藪原太郎 議員

**問** 避難生活が長引くことを想定し、国際的な最低基準であるスフィア基準を満たすように避難所の環境を整備するべきでは。

**答** 災害関連死の問題も課題として認識しており、スフィア基準も参考にし、避難所の質の向上に努めていきたい。

**問** 平成30年7月豪雨では、酷暑対策で避難所にエアコンが設置されたが、児童生徒が命の危険のある体育館を利用しているとも言える。本市の体育館にもエアコンを設置するべきでは。

**答** 冷房効果のある機器を研究するとともに、健康的かつ安全で豊かなユニバーサルデザインに配慮する点から、学校施設整備基本計画を策定する中で冷暖房の設置については検討したい。

このほか、自転車政策と駐輪場問題、自動二輪車駐車場問題や、小学校のプログラミング教育についての質問がありました。

## 人生いきいき 100年時代に向けた取り組みを



浜田けい子 議員

- 問** 切れ目のない認知症支援体制が必要と考えるが、対策を伺う。  
**答** 認知症支援の普及啓発の推進、相談事業の充実、在宅生活の支援を三本柱として位置づけ地域での見守り意識の醸成を図る。
- 問** 認知症ケアとしてユマニチュード技法の普及啓発への見解は。  
**答** 見る・話す・触れる・立つを基本とするユマニチュード技法による接し方は重要であるため家族等への普及啓発に努めたい。
- 問** フレイル<sup>\*</sup>予防における具体的な取り組みについて伺う。  
**答** 高齢者の生活実態を定期的に把握し、フレイルの早期発見に努め、本市独自の支え合いの仕組みも活用し予防していきたい。
- 問** 難聴は認知症の原因にもなるため、支援が必要だが見解は。  
**答** 難聴の高齢者には補助器具センター等の専門員が相談に応じ、身体障害者手帳非該当者の支援は今後の課題として研究したい。  
\*加齢や疾病の悪化等に伴い要介護の手前まで心身状態が低下している状態

## 小・中学校体育館へのエアコン設備の整備を



堀内まさし 議員

- 問** 子どもたちの安心・安全な学校生活の担保と、避難所の観点から、小・中学校の体育館にエアコンを設置すべきではないか。  
**答** 教育上と防災上の観点から、体育館へのエアコン設置は大変重要な課題と認識している。事業経費の課題などから現行の全体育館に設置することは難しいが、対策に努めていきたい。
- 問** 高温で歩行困難であったプールサイドの今後の暑さ対策は。  
**答** ひさしの設置や水まきのほか、ホースでの散水設備や地面の塗装についても、安全性や費用対効果を考慮しつつ研究したい。
- 問** 車道と歩道間にある段差解消の整備が必要ではないか。  
**答** 生活関連経路である五日市街道等の一部は、道路拡幅に伴う歩道設置・改修を経て段差が改善される予定だが、その他の都道についてはバリアフリーの観点から都へ要望していきたい。

## 多子世帯等に対する国民健康保険税の減免を



橋本しげき 議員

- 問** 国民健康保険税の減免に関し、多子世帯やひとり親世帯、生活困窮者や障害者・障害児への拡充を求めるが、見解は。  
**答** ひとり親世帯や障害者・障害児へは福祉制度の各種助成があり、低所得世帯へも均等割額を軽減する制度が拡充されているため、減免制度の拡充は現時点では考えていない。また、多子世帯の負担軽減については、東京都市長会からも国に要望しているが、すでに実施している他市の事例を参考に研究したい。
- 問** 国保法の規定に基づく窓口負担の減免措置を拡充すべきでは。  
**答** 実態を明らかに調査した上で研究をしていく課題と考える。
- 問** 行政文書は西暦と元号を併記するよう改めるべきではないか。  
**答** 現時点では併記が必要と認識している。なお申請等の際は、西暦で表記された場合でも受け付けている。

## 子ども子育てを応援する地域社会に向けた保育所整備を



内山さとこ 議員

- 問** 社会福祉法人立保育園の施設更新における市の役割を伺う。  
**答** 施設側の大規模改修計画の要望を聞き取り、改修の必要度を判定したうえで予算化し、整備を支援する予定である。
- 問** 来年4月までに、新たな保育所開設により定員が259人増えることから、2019年に待機児解消が可能と考えるが、市長が2020年4月待機児ゼロを目指すとしている根拠は何か。  
**答** 基礎的自治体の責務として、待機児は一日でも早く解消するのが前提であり、達成可能な目標を2020年4月とした。
- 問** 吉祥寺南町の市有地を民間に貸し付ける保育所設置計画は、その必要性を合理的に示し、市が責任をもって開設すべきでは。  
**答** 2年前の待機児童緊急対策本部会議での決定経緯を踏まえ、募集要項案を作成し社会福祉法人を含む民間公募を行いたい。

## LGBT当事者の人権を守る取り組みを求める



西園寺みきこ 議員

- 問** 市営住宅の入居資格を同性カップルにも認めるべきと考えるが、同性パートナーシップ制度導入への進捗状況を伺う。  
**答** 第四次男女平等推進計画を策定中であり、性の多様性に関する理解の促進は重点施策の一つと考えている。世田谷区など他自治体の動向等も踏まえ、検討していきたい。
- 問** 吉祥寺東コミュニティ通信120号の記事に対し、①発行者であるコミュニティ協議会の役割と責任に関する見解は②コミュニティ評価委員会の助言を要すると考えるがいかがか。  
**答** ①各コミュニティ協議会によって、記事の取り扱い方は異なるが、協議会の責において発行している②今年度中に設置する第四期コミュニティ評価委員会での評価結果を踏まえて、必要があれば市として助言を行っていきたい。

## 日本各地で発生した集中豪雨を受け、さらなる豪雨対策を



きくち太郎 議員

- 問** 本市の改定版下水道総合計画2018における、善福寺川雨水放流幹線の整備は当初計画より遅れているのでは。また、東京都市長会の都への水害に関する要望とはどのようなものか。  
**答** 下水道総合計画では、平成40年度以降の長期計画において善福寺川雨水放流幹線の整備が位置づけられている。しかし放流先の善福寺川はいまだ50ミリ降雨対応となっておらず、本市からの雨水も放流制限を受けているため、河川改修の時期との整合を図りながら放流幹線を整備する方針である。また、市長会では、都に対し都市型水害対策の推進と財政支援及び調整池や中小河川の早期の整備促進を要望している。  
 このほか、ムーブスを緑町コミセンまで走らせる必要性についての質問がありました。

## 動物の福祉・共生の視点を施策に位置づけること、子育て世代からの要望への見解は



蔵野恵美子 議員

- 問** 本市の動物の死体引き取り窓口名は「ごみ総合対策課」だが、動物愛護管理法の動物福祉的観点からも変更すべきでは。  
**答** クリーンセンターとの組織統合の際に併せて検討したい。
- 問** 市政の根幹となる第六期長期計画の討議要綱に「動物の福祉・共生」に関する記載を新たに追加すべきと考えるが見解は。  
**答** 第六期長期計画策定委員会での動向を注視し、検討したい。
- 問** 市役所には毎日、子ども連れの方が多数来庁される。車いすの貸し出しは行っているが、ベビーカーも加えてはいかがか。  
**答** 他市の状況・ニーズを参考に検討し、実施の方向で考えたい。
- 問** 10年間にわたり毎年要望が寄せられていることを踏まえ、0123施設の開所時間の延長を改めて提案するが、見解は。  
**答** 今後、必要性について子ども協会と検討を進めていきたい。

## 武蔵境駅北口市有地有効活用事業のプロポーザルと衛生管理に問題はないか



木崎 剛 議員

- 問** 武蔵境駅北口市有地有効活用事業におけるプロポーザルの決定内容は、いつの時点で完成形となるのか、見解を伺う。  
**答** 事業の完成は、不断の努力、生成発展、試行錯誤しながら完成に向かって日々努力をするものと考えている。事業コンセプトに沿った運営になるよう、引き続き運営事業者に指導したい。
- 問** 是正計画どおりに改善されていない屋上テントの状態に対する見解を伺う。また、市にも責任があると思うがいかがか。  
**答** 引き続き指導を行いたい。また、プロポーザルの公募条件に法令等順守を示し、事業者決定後は適宜ヒアリング等を行い指導しており、市としての責務は果たしていると考えている。
- 問** 公共スペースに食材を置いていることに対する見解を伺う。  
**答** 衛生的に望ましくないと考えており、保健所と協議したい。

### 議案審議結果(議決)一覧

#### 第3回定例会

##### 【市長提出議案(7件)】

- 武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)  
※建築基準法の一部を改正する法律の施行等を踏まえ、新たに手数料を設けるとともに、所要の改正をするもの。
- 武蔵野市旅館業者の責務等に関する条例 …… 継続  
※旅館業者の責務等を定めるとともに、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の改正によりレンタルルーム営業が同法の適用を受けることになったことに伴い、当該営業を営む者を適用対象から除くため、武蔵野市旅館・レンタルルーム規制条例の全部を改正するもの。  
※総務委員会で審査されましたが、継続審査となりました。
- 女子大通り幹線管渠更生工事請負契約 …… 可決(全会一致)  
※武蔵野市吉祥寺東町1丁目地内における都道113号線(女子大通り)路面下の女子大通り幹線管渠の内面被覆を施工するもの。契約金額は2億250万円。
- 平成30年度武蔵野市一般会計補正予算(第2回) …… 可決(全会一致)
- 平成30年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回) …… 可決(全会一致)
- 平成29年度武蔵野市決算の認定について …… 認定(賛成多数)
- 平成29年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について …… 可決及び認定(全会一致)

##### 【議員提出議案(1件)】

- 安心して住み続けられる家賃制度等を求める意見書 …… 可決(全会一致)
- 各議員の議案等に対する賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。

### 政府等への

### 意見書

#### 安心して住み続けられる家賃制度等を求める意見書

サンヴァリエ桜堤、武蔵野緑町パークタウン両団地は、建てかえ後二十年がたとうとしています。この間自治会では、住み続けてきた居住者が今後も安心して住み続けられるように、また新しく入居した世帯とともに豊かなコミュニティを築き、子育て世帯から高齢者までが住み続けたいまちとなるよう活動を続けてきました。

昨年九月両自治会では、全世帯を対象に「第十一回団地の生活と住まいアンケート」を実施しました。

サンヴァリエ桜堤では、アンケート用紙を九百六十三世帯に配布し、三百十三世帯から回答を得ました。その結果は、七十・六%の世帯が、「公団住宅に住み続けたい」と希望しています。家賃負担については、「大変重い」五十二・四%、

「やや重い」三十・〇%を合わせて八二・四%が重いと感じています。居住者の生活実態は、世帯主六十五歳以上が六十六・八%、年金受給者が六十七・四%と高齢化が進み、その結果、世帯総所得二百四十二万円未満の第一分位世帯が三十三・二%、二百四十二万円から三百五十三万円までの第二分位が十九・二%となつています。

武蔵野緑町パークタウンでは、同用紙を七百五十六世帯に配布し、五百二十二世帯から回答を得ました。その結果、六十六%の世帯が「公団住宅に住み続けたい」と希望しています。家賃負担については、「大変重い」五十八%、「やや重い」三十二%を合わせて九割に上る世帯が「重い」と感じています。居住者の生活実態は、世帯主六十五歳以上が半数、七十五歳以上が三十一%、年金受給者が五十%と高齢化が進み、その結果、世帯総所得が二百四十二万円未満の第一分位の世帯が十九%、二百四十二万円から三百五十三万円までの第二分位が十五%となつています。

両団地は二十年の経過とともに住宅は古くなつていますが、高い家賃は上がることがあつても下がることがありません。一方で高齢者が頼りとする年金は減り続け、医療・介護などの負担増もあつて生活は大変厳しくなつています。配偶者の死亡によりひとり暮らしとなった場合は年金収入が減つてさらに厳しい生活となり、住み続けられないとの切実な意見が寄せられています。独立行政法人都市再生機構法第二十五条第四項には家賃を減免できるとの条項があり、その実施が求められています。

両団地は家賃が高いことから空き家が増加し、空き家対策として三年の期限つき定期借家契約(家賃二割引き)を導入。その割合は、サンヴァリエ桜堤で約十五%、武蔵野緑町パークタウンで約十六%にも及びます。期限つきの入居はコミュニティ形成を阻害するばかりでなく、子育ての環境にとって重要な居住の安定が損なわれていることが大きな問題です。

二〇一八年二月武蔵野市と都市再生機構は、「誰もが住み続けられるまち武蔵野」の実現を目指して包括連携協定を結び、都市再生機構は両団地を「地域医療福

祉拠点団地」とすることを発表しました。よつて武蔵野市議会は、両団地に長年住み続けてきた高齢者や、子育て世帯等が安心して住み続けられるよう、貴職に対し、下記事項について要望するとともに、都市再生機構に対する働きかけを要望します。

- 一 高家賃を引き下げ、空き家を解消するとともに、住宅セーフティネットとして高齢者世帯等が安心して住み続けられるよう、家賃減免を実施すること。
- 二 子育て世帯が住み続けられるよう定期借家契約ではなく、子育て世帯向けの家賃減額制度を創設すること。
- 三 緑豊かな屋外環境と住宅の良好な維持管理を行い、武蔵野市、住民と十分な意思疎通のもと団地のコミュニティ形成に努め、団地を地域の福祉拠点として発展させること。

(内閣総理・国土交通大臣あて)  
陳情 審議結果  
安心して住み続けられる家賃制度等に関する陳情

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。  
※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

### 会派名簿

#### 自由民主・市民クラブ ☎60-1884

堀内 まさし ひがし まり子  
土屋 美恵子 木崎 剛  
小美濃 安弘 きくち 太  
与座 武

#### 民主生活者ネット ☎60-1889

藪原 太郎 蔵野 恵美子  
西園寺 みきこ 川名 ゆうじ  
深沢 達也

#### 空 ☎60-1890

山本 あつし 笹岡 ゆうこ  
斉藤 シンイチ

#### 市議会公明党 ☎60-1887

大野 あつ子 浜田 けい子  
落合 勝利

#### 日本共産党武蔵野市議団 ☎60-1888

しばみのる 橋本 しげき  
本間 まさよ

#### むさしの志民会議 ☎60-1885

深田 貴美子 竹内 まさおり  
下田 ひろき

#### 会派に属さない議員 ☎60-1909

内山 さとこ

#### 会派に属さない議員 ☎60-1944

山本 ひとみ

## タブレット端末の使用の試行を開始しました

平成30年第3回定例会から、本会議場や委員会室等において、議員および議会事務局職員によるタブレット端末の使用の試行を開始しました。

試行期間は平成30年9月から1年間です。

本会議や委員会室等で使用する会議資料を電子データ化し、タブレット端末で閲覧しながら審議・審査を行うことにより、議会運営の効率化を目的としています。



## 武蔵野市議会ホームページ

<http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/> 武蔵野市議会 検索

### ▶インターネット議会中継

本会議・決算特別委員会・予算特別委員会の模様を市議会ホームページで生中継しています(生中継の日程は「会議の日程」のページをご覧ください)。録画中継は、生中継終了後3日程度(土・日・休日を除く)で、ご覧いただけます。



### ▶会議録検索システム

平成2年8月以降の本会議、常任・特別委員会など、各種の会議録が閲覧・検索できます。

### ▶携帯電話版ホームページ

市議会からのお知らせを携帯電話でもご覧いただけます。下記のURLを直接入力するか、携帯電話で2次元バーコードを読み取ってください。



<http://www.city.musashino.lg.jp/m/shigikai/>

その他、市議会に関するさまざまな情報を掲載しています。ぜひご利用ください。

### 議会事務局

市議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。  
TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555  
メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp  
市議会ホームページ <http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>